

# 道徳通信

～第4号～

T S U N A G I

主体的・対話的で深い学び～考え議論する道徳～

体験活動を基に、よりよい生き方を探る道徳

日付・学年 10月2日(水) 1年1組

**内容** 道徳通信、第4号です。今回は、川中先生が授業を行いました。心情スケールと役割演技を取り入れた授業に挑戦された川中先生。役割演技後のコーディネート仕方に加えて、津奈木小全体でマンネリ化しつつあったハートつなぎタイムの在り方を見直す貴重な機会になりました。運動会直前のお忙しい中、学びの機会を与えてくださった川中先生に感謝です。以下、今回の授業の工夫をまとめました。お時間あれば、ご一読ください。

## 今回の学び

登場人物の心情を体験を通して考える役割演技 ～川中先生の実践から～

今回、授業を見せて下さった先生

川中 恵子 先生

【こんな工夫がありました🍷】

- ・心情スケールを活用した意見交流
- ・役割演技での教師のコーディネート
- ・道徳的価値を具体的に示す終末の写真提示



## 【川中先生の実践から見えた工夫】

### ① 心情スケールを活用した意見交流

これまでの検証授業でもどんな考えを対極に置くべきか、考えを取り上げる順番をどのように工夫すればいいのかなど、心情スケールの効果的な活用法を職員全員で協議し、実践を繰り返してきました。今回の川中先生の授業でも展開場面で心情スケールを活用した意見交流の場面がありました。1年生の子どもたちにも活用可能な方法なのかドキドキしながら見ていましたが、「くまの後ろ姿を見ていた時のおおかみの気持ち」についてスケール上で自分の立場を決めて友だちと意見交流できていました。



### ② 役割演技での教師のコーディネート

今回、川中先生は、登場人物の心情をより深く理解するために役割演技を取り入れました。おおかみ、くま、うさぎなど登場人物が親切な行動をしたり、親切な行動ををされたりする中で、それぞれの気持ちや感じたことを子どもたちから引き出して本時のねらいに迫っていました。役割演技後に打った発問は、以下のような内容でした。

#### 【役割演技後のコーディネート(発問)の工夫】

#### ① 今、どんな気持ち？

(親切な行動をした役にインタビュー)

⇒ スッキリした気持ち。これからも優しくしたい。

#### ② 今、どんな気持ち？

(親切な行動をされた役にインタビュー)

⇒ ありがとうって思った。うれしいな。

#### ③ 見ていたみんなは、どんな気持ち？(役割演技を見ていた子どもたちに問う)

⇒ いい気持ち。いいなあってスッキリした感じがする。



### ③ 道徳的価値を具体的に示す終末の写真提示

「親切な行動」と言われても、具体的なイメージがなかなか湧きません。そこで、川中先生は、授業の終末に写真を提示し、本時の道徳的価値を可視化する工夫をしました。事後研で、「授業の冒頭で活用する。」という考えもあり、どの場面でどう提示するのか立ち止まって考える良い機会になりました。



今回の研修とは関係ないけれど… 思いつきの企画でやってみました♡

【職員に聞いた おすすめの本やアプリ】

## ～ おすすめの本やアプリは何ですか？ ～

**坂田先生**…研究を引っ張る我ら若手の頼れる兄貴。朝から弁当作りもこなす仕事と家事の二刀流がすごい。

【おすすめの本】「**道徳科 授業構想グランドデザイン**」



著者：浅見哲也（前文部科学省・教科調査官）

道徳の授業についての教科書です。あれ？と悩んだり、曖昧なことをもう一度確認したりするとき、この本を読み返します。まさに、道徳の教科書であり、困ったときに引く辞書のような本です。道徳の「キホンのキ」が詰まっていて、初学者にとっての道しるべになると思います。道徳科を頑張りたいと思う方は、まずこの本を手にとってみてはいかがでしょうか。

**南原先生**…津奈木小の ICTTeacher。最新のアプリやチャット GDP など、とにかく詳しい。いつも穏やかで優しい。

【おすすめのアプリ】 Canva ～掲示物作成や業務の効率化に使えるかも!?～



ICTは「習うより慣れろ」で、試行錯誤しながら使っていくうちに様々な機能を使えるようになりました。Canvaには左のようなテンプレートが数多くあり、掲示物や動画編集などが容易です。私も、卒業式の日子どもたちに見せる動画をCanvaのテンプレートで作りました。



南原先生にインタビュー後、授業づくり部もCanvaに挑戦。5分でロゴが完成しました！

**江口先生**…趣味は、ヴィンテージの古着収集。断捨離がなかなか進まず日々怒られています。

【おすすめの本】「『**学び合う教室文化**』をすべての教室に」



著者：古屋和久（元小学校教諭：山梨県）

「話を聴く」とはどんなことかについて丁寧に細かく書かれた本です。「先生の授業は一問一答でクイズ大会みたい。」とお叱りを受けて以来、子どもたちが互いに言葉を繋ぐ授業にしたいと試行錯誤してきて、その中で出会った本です。この本では、「聴き方」に重点を置いていますが、良い聴き手が育てば、良い話し手も育つ実感があります。「対話」について興味がある方は、ぜひこの本を手にとってみてください。

川中先生の授業を見て、役割演技の効果を再認識しました。何より、教室が「ほっこりする雰囲気」に包まれるあの空気感がいいなあと感じました。こんな実践を積み重ねた先に「道徳が楽しい!好き!」と感じる子どもたちが増えていくんだろうと思います。学びの機会をくださりありがとうございました。授業づくり部